



2022年8月12日

各位

会社名 株式会社みらいワークス
代表者名 代表取締役社長 岡本 祥治
(コード番号：6563 東証グロース)
問合せ先 取締役経営管理部長 池田 真樹子
(TEL. 03-5860-1835)

2022年9月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年8月12日開催の取締役会において、以下の通り、最近の業績の動向等を踏まえ、昨年の2021年11月12日に開示した2022年9月期(2021年10月1日～2022年9月30日)の通期業績予想を修正することとしましたのでお知らせいたします。

1. 当期の業績予想数値の修正(2021年10月1日～2022年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A) (2021年11月12日発表)	6,000	250	263	164	32.51
今回修正予想(B)	6,300	100	113	24	4.77
増減額(B-A)	300	△150	△150	△140	—
増減率(%)	5.0	△60.0	△57.0	△85.4	—
(参考) 前期実績 (2021年9月期)	4,907	232	215	142	28.22

(注) 2020年12月18日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2022年9月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算定しております。

2. 修正の理由

当社は、中長期的に当社の成長を最大化するために、FCエージェント事業においては、2022年9月期においてクライアント基盤の拡大による契約数の増加及び業容の拡大を促進することが適切であると判断し、主要KPIである契約数を伸ばし売上高を積み上げること、また新規事業の推進に注力しました。

その結果、契約数は計画から210件(対前年比1,190件)増加する見込みとなり、売上高は計画を300百万円上回る見込みとなりましたが、売上総利益率は計画より3.9%下回り、売上総利益は計画を160百万円下回る見込みとなりました。

他方で、当社の中長期的な成長のためには先行投資が必要であると判断し、事業体制の強化のために営業人員を積極的に採用し、FCサービスの認知度向上のために積極的に広告を行う等、計画通り積極的な先行投資を行いました。また、人員拡大に伴いオフィスの移転も実施し、販売管理費は計画通り昨年度と比較し年間431百万円の増加を見込んでおります。

このとおり、当社は、当期において中長期的な成長の最大化を目指す戦略をとった結果、売上総利益が当初計画を下回る見込みとなり、営業利益、経常利益及び当期純利益についても、当初予想を下回る見込みとなりました。

詳細につきましては、本日（2022年8月12日）公表の「2022年9月期 第3四半期決算短信」及び「2022年9月期 第3四半期 決算説明資料」を併せてご覧ください。

なお、上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

以上